

わらどん

令和2年5月29日

発行責任者
早川北小学校
校長 丹沢伸也

感染症に取り組みながら学校再開



朝は教頭先生の手指消毒で出迎えます。健康チェックを体育館前で行って、児童は教室へ。給食もしばらくは前向きで。帰りは距離を保ってバスに乗るのを待ちます。

二五日、感染リスクに備えた対応を行いながら学校を再開しました。原則児童・職員のマスク着用、一定の距離を保つ等の学習、手指消毒や手洗いの衛生指導、校舎内施設の消毒等々、校内で定めたガイドラインを確認しながら取り組んでいます。幸い北小は、広い校舎内で少人数で学習しているため、いわゆる

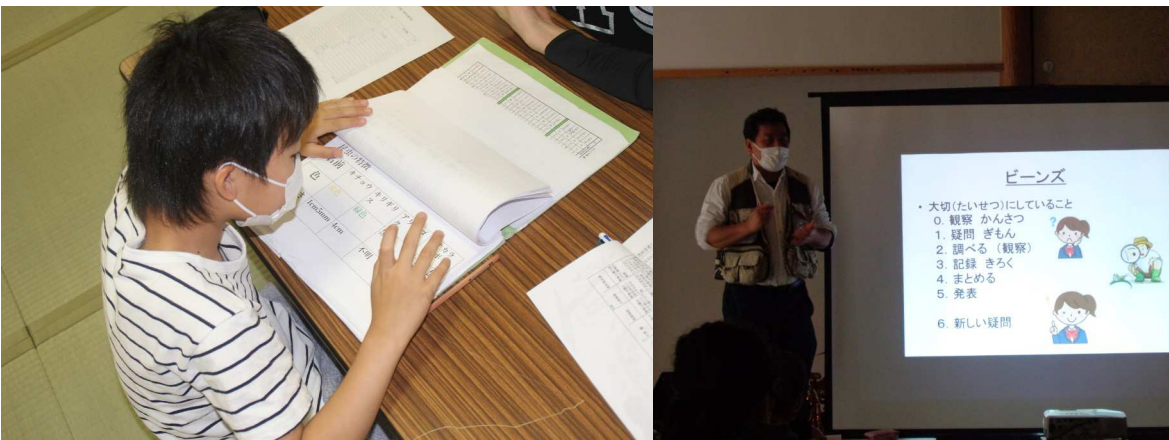
染リスクを避けるため、人との接触を少なくしながら経済活動を進めていくという課題に向き合っています。学校に置き換えれば子ども同士の接触や関わり合いを極力減らしながら、今までの教育活動で何ができるのか、どう行えばいいのか、答えの難しい課題です。今後しばらくは手探りの中で進めていくしかありません。保護者の皆様には、どうぞご理解とご協力を引き続きお願いしたいと思います。

「二密」の状況は、他の学校と比較すれば避けやすい利点があります。しかし、感染のリスクはどこでも一緒である、という意識をもって今後取り組んでいきたいと思えます。一方で、「話し合い活動」犬きな声での発声」など、従来授業の中で行っていた活動を制限をする必要があったり、当初予定していた活動を変更、中止しなければならぬことも出てきました。社会では、感

五月二五日の月曜日、途中臨時登校日を設けましたが、長い休業期間を終えて学校が再開しました。校舎、校庭に再び北小児童の明るい声が戻り、職員も再開を喜んでるところです。

日常の活動も始まりました

授業だけでなく、例年行われていた北小の活動も始まりました。二五日（月）、初日でしたが、野鳥公園のスタッフに学校に来ていただき、早速BEANSのガイダンスと、各自のテーマ決定が行われました。これから二月の発表会まで、月一〜二回のフィールドワークを行い、レポート作成、発表準備、そして当日の発表となります。児童がどのようなテーマに取り組むのか、どんな研究成果が得られるのか今からとても楽しみです。



BEANSの説明を聞いて、それぞれが個別のテーマを決めました。

北小の特色の一つ「朝活動」も始まりました。二七日（水）には、初めての「体づくり」が行われました。この日は、早川北小に長く伝統として続いている「北小体操」を行いました。六年生の手本を見ながら二人の新生は見よう見まねで、他の児童は、思い出しながら体を動かしていました。この活動が、わらべどんぐり祭りの体育発表につながっていきます。長く続いている活動が、毎年こうやって受け継がれていることに、感銘をうけました。



久々に取り組む「北小体操」です。長休みにはサツマイモの苗植えをしました。

新任職員紹介

四月よりALTの先生が新しく赴任しました。アメリカから来られたカイル・スミス先生です。この三月に来日したばかりで、日本で英語を教えるのも初めての経験だそうです。もう外国語の授業は何回か行われていますが、先生に紹介と、感想等聞いてみました。



名前 カイル・スミス先生
出身 アメリカ サンディエゴ州
年齢 二四歳
趣味 旅行・水泳・音楽・歌うこと
安室奈美恵や宇多田ヒカルをよく歌うそうです！

一言 早川町は山と美しい自然があつてとても気に入っています。北小の児童は、勉強に熱心に取り組む、教えるのが楽しいです。

ホームページ更新のお知らせ

以前お知らせしましたが、新しいホームページを作成中です。早川北小の特色や魅力を多くの人に伝える内容にしたいと考えているところです。あいに、臨時休業が長くなつてしまったため、昨年度までの活動の写真や様子をもとにした内容が中心ですがご承知ください。今後、今年の様子を加えていきます。六月半ばには新しくできると思います。保護者の皆様にはメールでお知らせします。是非ご覧になってください。

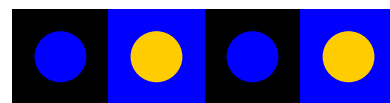


新式、始業式の様子です。



入学式

全校児童・職員で記念の1枚です。

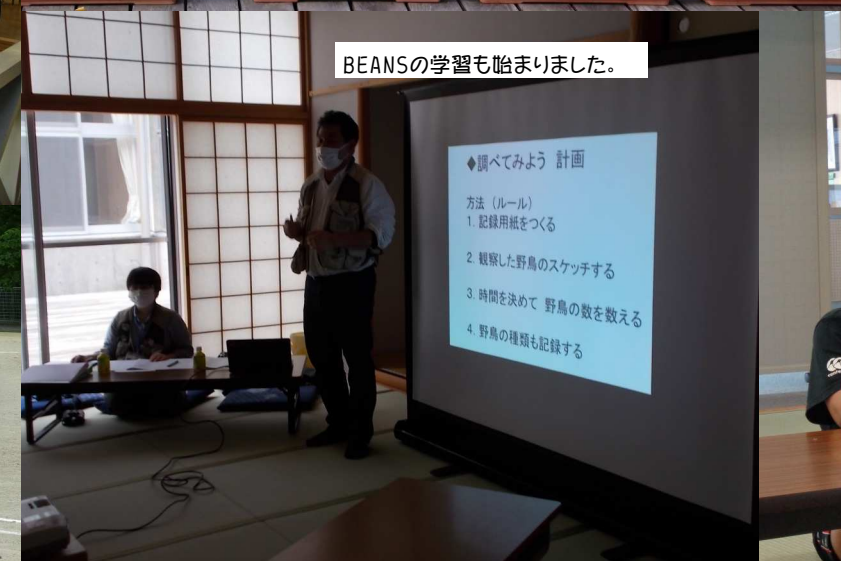


4,5月のスナップ写真

4, 5月は臨時休業のため、例年通りの行事が実施できませんでした。二月分の写真をまとめて掲載しました。



学校再開もしばらく前向き給食



BEANSの学習も始まりました。



朝活動で赤十字の話を聞きました。



「体づくり」で北小体操に取り組みました。



ザツマイモの苗植え



校庭で陸上の練習です。